

WWLコンソーシアム構築支援事業 令和4年度連絡協議会（R4.7.1）

Well-being フォーラムから 国際会議へ

岡山県ALネットワーク

管理機関：岡山県教育委員会

拠点校：岡山県立岡山操山中学校・高等学校



岡山県マスコット
ももっち・うらっちと仲間たち

未来の岡山と世界のWell-beingの実現に貢献するグローバル・リーダーの育成

- ▶ 岡山における医療・福祉の先駆的な取組や充実した環境を踏まえ、SDGs「目標3 すべての人に健康と福祉を」と関連付けた学びを充実
- ▶ 「すべての人が身体的、精神的、社会的に幸福“Well-being”な社会の実現」を目指し、ポスト・コロナの社会にあって、自ら課題を見だし、その解決に向けて、主体的に行動し、責任をもって社会変革を実現していく力を備えたグローバル・リーダーを育成

拠点校の取組

岡山操山中学校・高等学校
 ○県内初の公立中高一貫教育 (H14~)
 ○SGH(H27~R1)
 ・教員研修の活性化
 ・授業の質の向上・深化
 ・課題研究の内容の充実
 ・校外の発表の場への参加者数の増加(G20提言等)
 ・コンテスト等での入賞者数の増加
 ・海外姉妹校との提携など国際交流の活性化

Well-beingの実現を社会課題として事業を進める岡山の歴史と土壌

- 医療・福祉・教育の先駆的取組**
 ○岡山藩医学館や第三高等学校校医学部の流れをくむ非常に高い医療水準
 ○民生委員制度発祥の地
 ○児童福祉の父と呼ばれる石井十次など「岡山四聖人」の業績
 ○日本初の庶民の学校「閑谷学校」を源流とする「教育県岡山」

- ESD・SDGs等の取組**
 ○2014 ESDに関するユネスコ世界会議 (ステークホルダー会議)開催
 ○SDGs未来都市 岡山市 真庭市
 ○岡山大学 SDGsパートナーシップ 賞

- G7・G20の開催**
 ○2016 G7 倉敷教育大臣会合「倉敷宣言」
 ○2019 G20岡山保健大臣会合 高校生による提言



育成する資質・能力 OKAYAMA Agency

Well-being 健康と福祉

幅広く深い教養	主体的に行動する力
課題発見・解決能力	他者と協働する力
新たな価値を創造する力	自他を尊重する心

活動の3つの柱

社会の多様性への理解の促進

【ネットワーク】
 ★ICT(Web会議システム)を活用した**高校生国際会議**の開催
 テーマ：「健康と福祉」
 ★**姉妹校を含む高校ネットワークを構築**し国際交流機会への相互乗り入れ (姉妹校：オーストラリア・アジア・北米)
 ★**合同留学報告会**の開催

【拠点校】
 ★**外国人教員**による日常的な指導
 ★外国人留学生との交流促進
 ★海外研修の充実 (オーストラリアステイター、県プログラム等の活用促進)

課題研究の充実

【ネットワーク】
 ★合同課題研究発表会の開催、共同課題研究の実施によるSSH、地域協働事業等との**成果共有・普及**
 ★「岡山県版**中高一貫課題研究メソッド**」の開発

【拠点校】
 ★課題研究「**未来航路**」をSDGs「目標3 すべての人に健康と福祉を」と関連させて実施
 大学、企業等でのフィールドワークや大学が行う**国内外フィールドワークへの同行等**
 ★**海外姉妹校との共同課題研究** 共通テーマによるデータ収集・分析等

高度な学びの推進

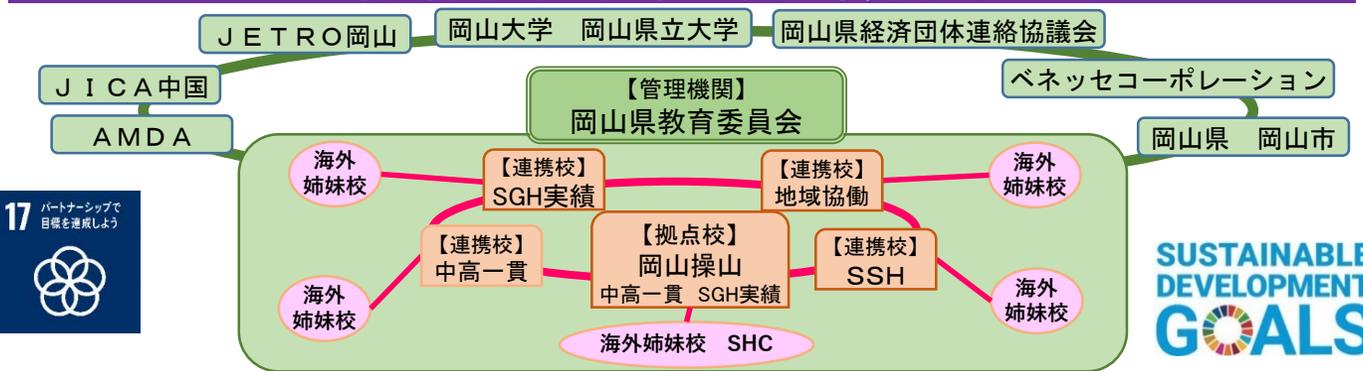
【ネットワーク】
 ★大学の講義等の聴講 (**遠隔授業**の研究含む)・大学での単位認定の研究 (**アドバンスト・ラーニング**)
 ★課題研究の成果をOUTPUTする場としてコンテストや学会等へ参加
 ★企業、国際機関等が行う国際的なプログラム等への参加促進

【拠点校】
 ★データサイエンス等を含んだ文理融合・教科横断的科目「**SOZAN STEAM**」の実施 (1年次・1単位)
 ★大学等との連携によるグローバル合宿等**SOZAN国際塾**の取組の深化

拠点校では、ICT環境整備と**生徒一人一台端末環境**により、学びのポートフォリオを蓄積・活用するとともに

★日常的な国際交流を促進	★思考の可視化等により協働学習を充実	★大学教員とのディスカッション等を充実
--------------	--------------------	---------------------

岡山版アドバンスト・ラーニング・ネットワーク



- ### 事業連携校
- 岡山一宮高等学校
SSH 姉妹校 (韓国・慶南科学高)
 - 岡山城東高等学校
地域との協働 (G型)、SGH実績
姉妹校 (韓国・慶南外語高、金海外語高)
 - 岡山工業高等学校
STEAM教育 (県事業)
姉妹校 (オーストラリア・ロタ高、パベット高)
 - 倉敷天城中学校・高等学校
SSH 姉妹校 (米・バーストー高)
中高一貫
 - 倉敷中央高等学校
福祉科 看護科 姉妹校 (台湾・聖功女子)
 - 玉島高等学校
SSH 姉妹校 (カナダ・サレキスファン高)
 - 津山中学校・高等学校
SSH 中高一貫
 - 和気閑谷高等学校
地域との協働 (地域魅力化型)
ユニバーサル創学350年
姉妹校 (中国・上海市嘉定区第一、曲阜市第一、韓国・昌原龍湖、沃川、台湾・屏東女子)
 - 岡山大安寺中等教育学校
IB研究 (県事業) 中高一貫
 - Sacred Heart College 高校
拠点校の姉妹校 (オーストラリア)

- ### 事業協働機関
- 岡山大学
SGU SDGs UNCTAD
高度な学び 探究 連携協定
 - 岡山県立大学
COC+R 高度な学び 探究 連携協定
 - 岡山県経済団体連絡協議会
県内経済5団体で構成
経済活動の連携・活性化
 - ベネッセコーポレーション
教育情報、情報発信
 - JETRO岡山
貿易振興 アジア
 - JICA中国
国際協力 開発途上国
 - AMDA
NGO NPO
国際人道支援活動
 - 岡山県
岡山市
ESD SDGs
G20岡山保健大臣会合



高校生国際会議の位置づけ

- 本事業が目指す、学校、国の枠を越えた「高度な学び」の3年間の成果を示す場として位置づけ、これに向かって、高校生がそれぞれの学校での学びの成果を持ち寄って交流し、学びを深めていくための機会をALネットワークネットが提供する。
- 「全ての人が身体的、精神的、社会的に幸福”Well-being”な社会の実現」を共通テーマとして、拠点校及び連携校と各校の海外姉妹校の高校生が、課題研究の発表、シンポジウムを行い、会議での意見を提言としてまとめ、発信する。

開催計画

【R2年度】（カリキュラム開発拠点校としての採択）
拠点校、連携校による合同課題研究発表会の実施

【R3年度】（委託事業としての採択）

Well-beingフォーラムの開催

（課題研究発表会、基調講演、シンポジウム、
「おかやま高校生Well-being宣言」策定）

【R4年度】

Well-beingフォーラムの発展、深化

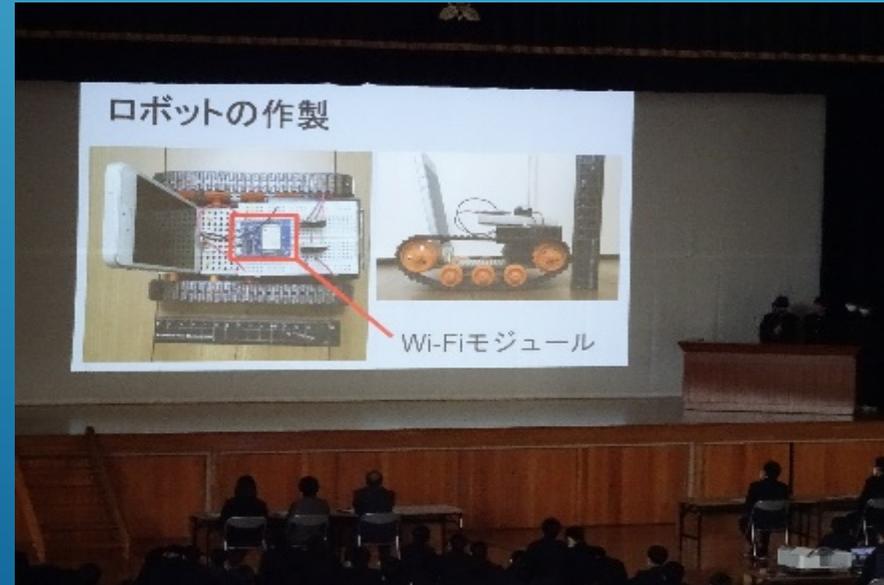
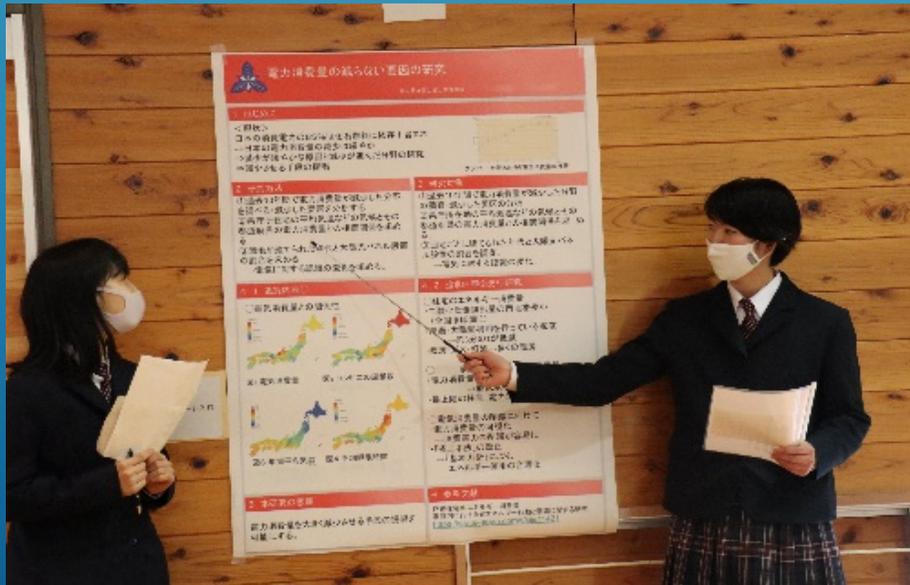
（姉妹校の参加拡大、連携事業と関連させた課題研究発表
会の充実、「おかやま高校生Well-being宣言」の深化）

【R5年度】（委託事業最終年度）

「高校生国際会議」の開催

R2年度 合同課題研究発表会の開催 (R3.3)

- 拠点校の「未来航路課題研究発表会」に、連携校の参加を依頼。連携校代表グループによるステージ発表、ポスター発表を開催。
- 拠点校、連携校の間で、各校の特色や専門性を生かした課題研究等の成果を発表、交流。



R2年度 合同課題研究発表会の開催 (R3.3)

【参加した生徒の感想から】

- 着眼点がとても面白く、まさにグローバルな課題をしっかりと自分事と捉えて自分のできる範囲の適切な実験をされていて、素晴らしいと思いました。充実した交流ができて嬉しかったです。
- 自分の学校ではみられなかった、核心をついた質問が出て、新たな課題を見つけることができた。
- 発表に対する質問の答えを探すたびに、自分もより深く、テーマに触れることができたような気がした。
- 自分は「グローバル」をあまり意識したことがなかったが、少し視野を広げてみたくなった。
- 質疑応答では、発表側が互いに知識を共有し合い、一生懸命、疑問を解決させようとしている姿勢に驚きました。自分もより一層、努力せねばと向上心をくすぐられました。

R3年度 Well-beingフォーラムの開催

- R5実施の国際会議のプレイベントとして、テーマである”Well-being”について理解を深め、「”Well-being”な社会の実現」のための方策について探究することを目的として開催。(オンライン方式)
- 拠点校、連携校の代表生徒による課題研究発表会、基調講演、参加生徒によるラウンドテーブルを実施。
- 基調講演は、連携機関であるAMDAの菅波 茂 代表。
- 事前セミナーとして、AMDA理事の佐藤 拓史 医師によるオンライン講演会、座談会を開催。
- ラウンドテーブルは「”Well-being”な社会の実現に向けて」をテーマに協議を行い、内容を「おかやま高校生”Well-being”宣言」としてまとめる。

R3年度 Well-beingフォーラムの開催

【R4.2.12(土)事前セミナー】

講師 特定非営利法人AMDADA理事・医師 佐藤 拓史 氏



R3年度 Well-beingフォーラムの開催

【R4.2.12(土)事前セミナー】生徒の感想から

- 相手の視点になって考えることの難しさに気づきました。逆に言えば、それが出来れば性別が違ってても、人種が違ってても、宗教が違ってても、みんなが幸福になれる方法が見つかるのかもしれないと感じました。
- 相手の立場を考えて自分が思う幸せを願ったつもりでも、幸せの物差しは本当にその人の立場に立ってみないと分からないのだと思いました。だからこそ、佐藤先生が現場に行くことは本当のニーズを探す姿勢なのだと実感しました。
- 「自分から出会いに行った人が恩師になった」ということにとても共感しました。私も何かしらの行動をしてこれまで素敵な恩師に出会うことができましたが、佐藤先生の行動力にはまだまだ及ばないなと実感しました。自分のしたいことに向きあい、勇気を持って行動していきたいと思いました。

R3年度 Well-beingフォーラムの開催

【R4.3.5 (土) Well-beingフォーラム (オンライン)】

○拠点校、連携校、Sacred Heart College高校 (豪 拠点校の姉妹校)
午後の部 基調講演 特定非営利法人AMDA代表 菅波 茂 氏
ラウンドテーブル

(グループ協議) 「Well-being」な社会の実現に向けて」
(全体協議) 「おかやま高校生”Well-being”宣言」に向けて

■開かれた相互扶助による信頼形成

尊敬と信頼の相互扶助ネットワーク
AMDA多国籍医師団

プロジェクト実施国67カ国
緊急人道支援活動実施国AMDA菅波茂
59カ国190件
(2017年12月末現在)

世界に広がるAMDA支部 32カ国

国連・経済社会理事会
総合協議資格に昇格
(2006年8月)

国連本部

1984年AMDA発足

AMDA

zoom



Group F 私が考える”Well-being”とは

- be equal (gender(working salary, time), politics)
- continue thinking about what is well-being
- elimination barriers (age, gender) (without benefit)
- show everyone (people animal plant) can live at certain level
- stay happy(getting exercise,nice home, food shelter) safe, love people, caring others,comfortable any environment
- enough education
- spending with family

well-being is important and different for everyone

zoom

R3年度 Well-beingフォーラムの開催

【R4.3.5(土) Well-beingフォーラム(オンライン)】

○おかやま高校生”Well-being”宣言

おかやま高校生”Well-being”宣言

私たちは、令和3年度WWLコンソーシアム構築支援事業「Well-beingフォーラム」のラウンド・テーブルにおいて、「すべての人が身体的、精神的、社会的に幸福”Well-being”な社会の実現」について協議し、次のとおり「”Well-being”な社会」を定義するとともに、「その実現のために私たちにできること」についてまとめ、これを「おかやま高校生”Well-being”宣言」として提言する。

1. 一人ひとりが違う幸せをもっていることを認識し、互いの多様性が尊重される社会。

(実現のためにできること)

- ・他者の理解に努めるとともに、自分自身のことを深く知る努力をする。
- ・他者とのコミュニケーションを大切にし、自分とは異なる視点から物事を見るとともに、自分の考え方や見方について言葉できちんと説明できるようにする。

R3年度 Well-beingフォーラムの開催

【R4.3.5(土) Well-beingフォーラム 生徒の感想から】

- 他校からの質疑応答では、自分たちでは考えきれなかった部分まで質問してもらい、とても勉強になり刺激を受けました。また、他校の発表では自分の高校や今後の人生に生かせそうな研究がいくつもありました。今日を終えて終わりではなく、今日参加した私の責任として、ここで学んだことをしっかり家族や友人、先生、そして集団を越えて広めていきたいと思っています。
- 講演を聞き、困っているから助けるなどの単純な理由ではなく「なぜ？」という説明をきちんと伝え、自分は裏切らない、逃げないという意思を伝え、信頼関係を深めた関係を大切にしていきたいと思いました。コミュニケーションを大事にし、相手が持つ価値判断を理解することで多文化共生を目指していきたいです。そのための経験を大切にし、知識を知恵に昇華していきたいです。

R3年度 Well-beingフォーラムの開催

【R4.3.5(土) Well-beingフォーラム 生徒の感想から】

○ラウンドテーブルでは、Well-being実現のために自分たちに出来ることについて、「経験」、「知識」、「理解」というキーワードを挙げた人が多く、内容は人によって違うものの、その中でも共通点を見つけることが出来た。また2回の講演で学んだことや前の人の発表内容を踏まえて発表していた人も多く、繋がりを意識しながら聞くことが出来たし、そのように他の人の話を聞いて理解するところがwell-beingにつながっていくのではないかと感じた。



R2年度、R3年度の課題

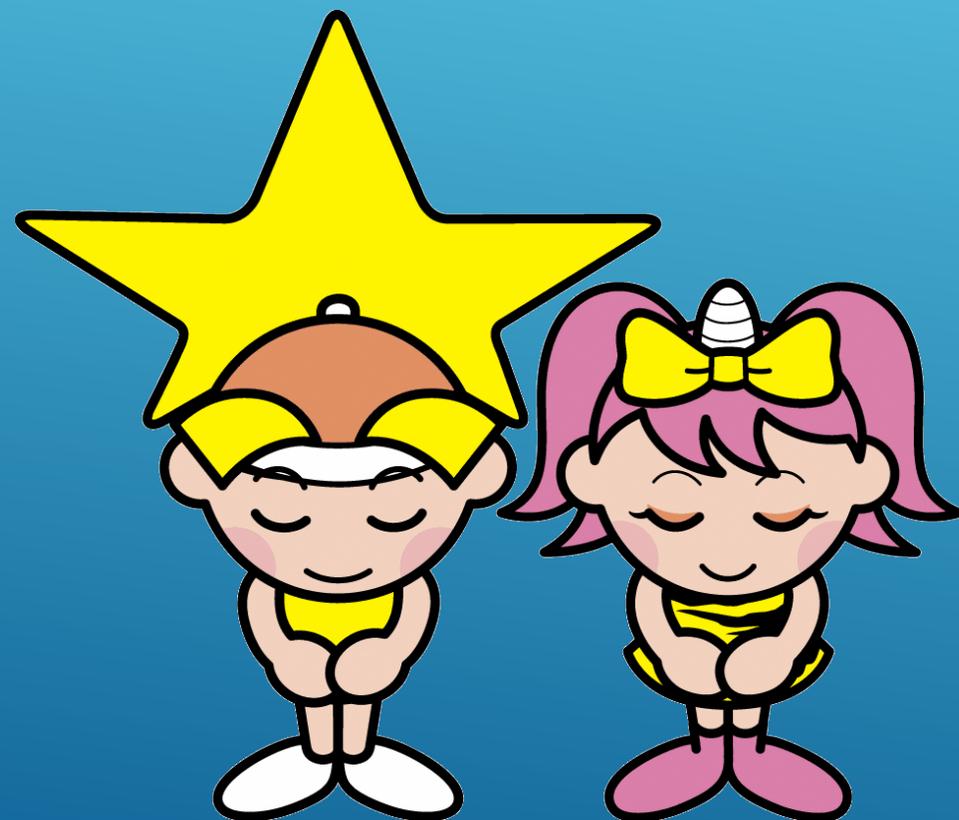
- ”Well-being”というテーマの共有の難しさ
各校の特色や専門性との関連づけ
- 開催日程の調整の難しさ
各校の行事日程、課題研究の進捗状況の考慮
- 姉妹校の参加に関する調整の難しさ
時差、オンラインの調整、言語の問題
- コロナ禍に伴う開催形式、予定の変更
会場の手配、オンライン開催への変更

Well-being フォーラムから国際会議へ

～R4年度、R5年度に向けて～

- 連携校の姉妹校の参加による交流機会の拡大
- 連携事業と関連させた課題研究発表会の充実
事業協働機関によるセミナーとのタイアップ
考えたことの具体化、行動化につなげる
- 「おかやま高校生Well-being宣言」の深化
- 生徒の主体的な会議運営への参画
- 参集とオンラインのハイブリット開催の準備
- ラウンドテーブルの充実
テーマの検討、有識者によるコーディネート

ご静聴ありがとうございました。



おかやま高校生”Well-being”宣言

私たちは、令和3年度WVLコンソーシアム構築支援事業「Well-beingフォーラム」のラウンド・テーブルにおいて、「すべての人が身体的、精神的、社会的に幸福”Well-being”な社会の実現」について協議し、次のとおり「”Well-being”な社会」を定義するとともに、「その実現のために私たちにできること」についてまとめ、これを「おかやま高校生”Well-being”宣言」として提言する。

1. 一人ひとりが違う幸せをもっていることを認識し、互いの多様性が尊重される社会。
(実現のためにできること)
 - ・他者の理解に努めるとともに、自分自身のことを深く知る努力をする。
 - ・他者とのコミュニケーションを大切にし、自分とは異なる視点から物事を見るとともに、自分の考え方や見方について言葉できちんと説明できるようにする。
2. 誰もがいかなる理由においても差別されることなく、それぞれの幸福を平等に追求できる社会。
(実現のためにできること)
 - ・人種、性別、信条、宗教、障害の有無に関わらず、すべての人が、それぞれのもつ意志と能力を発揮する機会をもつことができるよう、努力する。
 - ・様々な社会的障壁（バリア）をなくしていくために、まず個人ができることを行動に移す。
 - ・異なる文化や価値観についての理解を深めるとともに、自分とは異なる立場について、深く想像できるようにするための経験（直接体験、間接体験）を増やす。
3. 身近な大切な人との日常生活を、豊かに持続することのできる環境が守られている社会。
(実現のためにできること)
 - ・身近な大切な人と自分自身の幸せと健康のために、日常の生活を豊かにする小さな努力をする。
 - ・常に環境問題に対して意識し、まず、今の自分にできることから行動に移す。
 - ・かけがえのない日常を事故や事件から守るためのルールづくりや、モラル、マナーの向上について社会全体で考え続ける。
4. 他者と関わり、それぞれの強みを生かし、弱みを補いながら、相互扶助の精神で誰一人取り残されることのない社会。
(実現のためにできること)
 - ・常に周囲にアンテナを張り、他者の小さな変化や行動に対する気付きを大切にし、行動に移す。
 - ・身近な社会である地域の人とあいさつを交わしたり、感謝を伝えたりすることを通して、日常的なつながりをつくる。
5. 「”Well-being”とは何か」ということについて、それぞれが考え続けている社会。
(実現のためにできること)
 - ・幅広い分野の教養や知識を常に学び続けるとともに、経験を積むことによって、それらの知識を、自分の可能性を広げ”Well-being”を実現するための「知恵」に昇華させていく。

2022.3.5

WWLコンソーシアム構築支援事業 拠点校・連携校
令和3年度「Well-beingフォーラム」参加生徒一同

岡山県立岡山操山中学校・高等学校

岡山県立岡山一宮高等学校

岡山県立岡山城東高等学校

岡山県立岡山工業高等学校

岡山県立倉敷天城中学校・高等学校

岡山県立倉敷中央高等学校

岡山県立玉島高等学校

岡山県立津山中学校・高等学校

岡山県立和気閑谷高等学校

岡山県立岡山大安寺中等教育学校

Sacred Heart College 高校（オーストラリア）